

2013年5月8日

各位

会社名 東京センチュリーリース株式会社
代表者名 代表取締役社長 浅田 俊一
(コード番号 8439 東証1部)
問合せ先 広報IR室長 松原 健志
(TEL03-5209-6710)

第二次中期経営計画（2013年度～2015年度）について

当社は、2013年度から2015年度までの第二次中期経営計画を下記の通り策定しましたので、その概要をお知らせいたします。

記

1. 基本方針

**『真の総合ファイナンス・サービス企業を目指し、
更なる変革と持続的成長を実現する。』**

2010年度からの第一次中期経営計画は、「統合シナジーの最大化と次なる成長ステージへの変革シナリオ」と位置付け推進した結果、業界最速のシステム統合を始めとして統合作業を短期間で全て完了しました。経営目標については、経常利益が合併前の2社合計の倍以上となるなど、全項目を達成し「統合シナジーの最大化」を実現しました。

また、コア事業であるリース分野において業務の効率化を積極的に推進するとともに、成長期待分野であるファイナンスおよび海外ビジネスの両分野においては、パートナー企業とのアライアンス強化、海外ネットワークの拡大など、新たな取り組みにチャレンジし事業領域の拡大を図ることで「次なる成長ステージへの変革シナリオ」も着実に実行しました。

今年度から開始する第二次中期経営計画は、「真の総合ファイナンス・サービス企業を目指し、更なる変革と持続的成長を実現する。」を基本方針とし、「サービス業への転換」へ大きく舵を切る「真の総合ファイナンス・サービス企業」を目指します。従来のビジネスモデルに囚われず高い目線でビジネスを捉え、当社の強みを最大限活かしながら経営戦略を着実かつ迅速に実行することで収益の拡大を実現してまいります。

経営目標の一つとして「連結経常利益500億円以上」を設定しました。当社としては、この目標を安定して計上できる体制を構築することで、更なる事業展開を可能とし、業界のリーディングカンパニーとして持続的な成長を実現するとともに、あらゆるステークホルダーに対する利益還元が可能になるものと考えております。

2. 経営戦略

前記「基本方針」の下、以下の経営戦略を着実かつ迅速に実行します。

【営業基盤強化】	【経営基盤強化】
(1) リース事業の競争力強化	(1) 連結経営の強化
(2) ファイナンス事業の強化	(2) 財務基盤の充実と強化
(3) 海外ビジネスの拡大	(3) 人材開発の強化
(4) 国内外におけるオート事業の 取り組み強化	(4) 営業事務の効率化推進
	(5) リスクコントロールの高度化

3. 経営目標

第二次中期経営計画における経営目標を以下の通り設定します。

項 目	目 標 値	2013年3月期
連結経常利益	500億円以上	463億円
連結営業資産	2兆6,000億円	2兆2,314億円
連結自己資本比率	10.0%	9.0%

以 上